

### 3 大学ミーティングを開催しました

平成 28 年 6 月 17 日（金）の午後 3 時から、新潟大学医歯学総合病院 12 階の特別会議室において、平成 28 年度「オール新潟による『次世代医療人』の養成」プログラム 3 大学ミーティングを開催いたしました。

この会では、新潟医療福祉大学、新潟薬科大学の担当の先生方にお越しいただき、プログラムの今後の方針、新しいアイディア、取り組みへの各大学学生の参加のお願いについてなどを討論しています。

今回は、初めに黒川特任助教より、「医療系学生のためのトータルヘルスケアワークショップとフィールドワーク ～これまでの成果と今後の実施計画～」と題してご報告をさせていただきました。ワークショップとフィールドワーク開始時と終了時に行っているアンケート調査からは、口腔ケア、誤嚥性肺炎予防、ソーシャルキャピタル、多職種連携など、この取り組みのテーマについての理解は深まっているとされました。討論でも、3 大学の各専門職の学生が、垣根を越えてこれらのテーマについて理解することは重要であるとのこと意見をいただきました。



新潟薬科大学薬学部薬学科の齋藤幹央先生からは、「学生が住民の健康・自立を支える街」と題して、新潟薬科大学における ISCE (Interactive Social-Cooperatice Education) の取り組みについてお話をいただきました。新潟薬科大学1、2年次生が、秋葉区、南蒲原郡田上町のコミュニティーへ入り、「健康・自律セミナー」と題して、糖尿病・高血圧など、住民に身近な疾患のセミナーや、漢方薬の紹介などを行う中で、コミュニケーション力やヒューマニズム、薬剤師としての使命感を培っていこうというものです。非常に魅力のある取り組みですが、教員側としても相当に手間のかかる取り組みとも思われ、これから成果を出していく中で、私達が行っているソーシャルキャピタルをはかるアンケート調査がお役に立てるのではとの話も出ました。

最後に井口特任教授と鈴木特任助教から、阿賀町・十日町市で行ったアンケート調査の結果について、その調査結果を自治体の健康データと組み合わせて様々な切り口での調査テーマを計画していることについてなどをご報告しました。また、今後の取り組みにおいても引き続きのご協力をお願いいたしました。

討論では、新潟医療福祉大学、新潟薬科大学で行っている多職種連携を学ぶ連携総合ゼミへの本学医学科学生の参加についてのご要望があり、可能な限りご協力したい旨お答えいたしました。

今後も、3大学が協力してプログラムの成果を出していきたいと考えております。

